

[成果情報名] 7月上中旬に収穫できる食味良好なモモ白肉新品種「はつひめ」

[要約] モモ中生種「あかつき」に極早生種「はつおとめ」を交配し、早生で大果のモモ新品種「はつひめ」を選抜、育成した。福島県での熟期は7月上中旬であり、果重は220～300g、糖度は10～14%である。肉質は滑らかで、多汁である。食味は香りが豊富で甘味である。

[キーワード] モモ、果樹、新品種育種、早生種、「はつひめ」

[担当]福島農総セ果樹研・栽培科育種担当

[連絡先]電話 024-542-4952

[区分]東北農業・果樹

[分類]技術・普及

-----  
[背景・ねらい]

福島県の早生モモの有利販売を確保し、中生種に偏重した福島県におけるモモの品種構成を改善するため、果実形質に優れ、食味など品質良好な早生新品種育成を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 「はつひめ」は、1999年に「あかつき」( )に「はつおとめ」( )を交配した交雑実生から選抜され、2008年2月18日付けで種苗法に基づく品種登録を申請した(図1)。
2. 開花期は「あかつき」と同時期で、花粉はない。満開から約80日で成熟し、「日川白鳳」より7日程度早く、育成地(福島市飯坂町平野)において7月10日前後に収穫できる(図2、表1)。
3. 果形は扁円形で、充実した側枝では豊満な果形となり、「あかつき」に似る(図1)。果皮着色は明るい赤で、初め縞が明瞭であるが、成熟期には着色が全面におよび縞が不明瞭となる。果肉色は白で核周りの色素は無である。果重は220～300gで早生種としては大果である。肉質は幾分、繊維が混じるが滑らかで、多汁である。食味は香りが豊富で、糖度は10～14%とこの時期としては甘味が多い(図3)。果実の日持ちは15℃で3～4日である。
4. 樹姿は「あかつき」並みの中間、樹勢は「はつおとめ」より弱く、「あかつき」並みの中である。新梢は太く、「ふくおとめ」や「あかつき」に似る。また枝が硬く側枝は下垂しにくい。幹の肥大は緩慢である。
5. 硬核期は満開後50日頃で「あかつき」と同時期である。着色開始期は硬核期から10～14日後、収穫始めは着色開始期から15～20日後頃である。
6. 果肉内に紅色素が見られる。核割れの発生率は10%以下で早生種としては少ない方である。裂果、生理落果の発生は認められない。

[成果の活用面・留意点]

1. 花粉は無いが満開期が「あかつき」と同時期であり、自然交配が期待できるので混植園であれば人工受粉は必要ない。なお、防除上の問題から混植は困難と思われる。その場合は、人工受粉の実施が望ましい。
2. 花粉が無いので摘蕾作業は省略できるが、短果枝を中心に50%程度の摘蕾は果実肥大確保に有効である。
3. 苗木の販売は、県単独事業で育成された品種であるため、当面は福島県内限定販売となる。

[具体的データ]



図1 「はつひめ」の果実

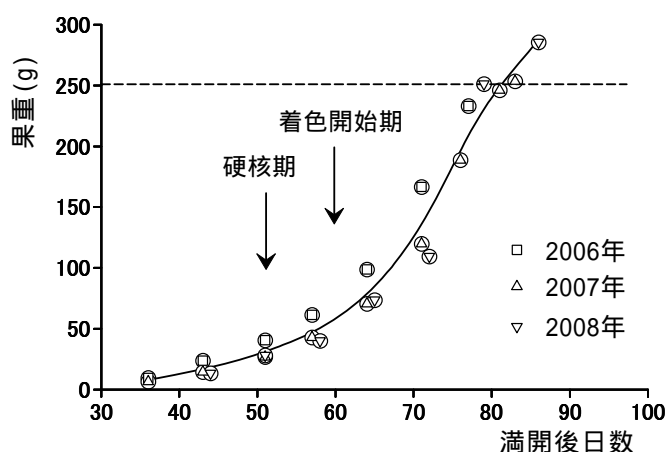


図2 「はつひめ」の肥大曲線

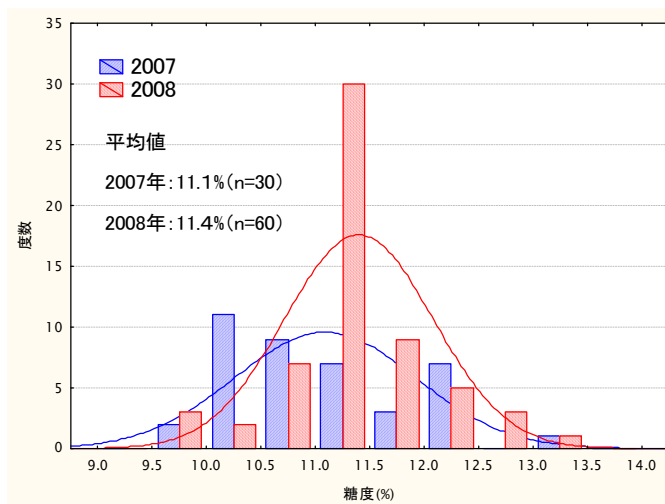


図3 「はつひめ」の糖度分布

表1 モモ「はつひめ」および早生種の開花期、収穫期および果実品質 (2008年)

系統番号 品種名	樹 齢	開花期			着色 開始	収穫期			果重 g	糖度 %	pH	硬度 Kg
		始	盛	終		始	盛	終				
はつひめ	8	4/1	4/19	4/27	6/18	7/8	7/11	7/15	281.5	11.5	4.	1.7
はつおとめ	8	4/1	4/21	5/1	6/5	6/20	6/23	6/26	194.3	11.4	4.	1.9
ふくおとめ	8	4/1	4/18	4/29	6/6	6/26	-	6/30	210.3	11.6	4.	2.0
日川白鳳	8	4/1	4/20	4/29	6/30	7/16	-	7/23	302.5	11.4	4.	2.5
暁星	3	4/1	4/20	4/27	7/8	7/22	7/26	7/31	205.2	13.7	4.	2.4
あかつき (中生種)	9	4/1	4/20	4/27	7/15	8/1	8/6	8/11	310.1	12.6	4.	2.3

[その他]

研究課題名：果樹の新品種育成

予算区分：県単

研究期間：1999～2008年度

研究担当者：佐藤守、岡田初彦、小野勇治、大橋義孝、木幡栄子

発表論文等：品種登録出願(2008.02.18)